



指扇中だより



西区の花 アジサイ

= 自信と誇りに満ちた指中生 =

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 電話 048(624)6234 FAX 048(624)2479



『瑠璃色の地球』

校長 おおこうち のりかず 大河内 範一

私にとってウルトラマンは永遠のヒーローである。幼少の頃は、「戦いごっこ」をしてすくすくと成長した。月日が流れ、息子にウルトラマンの座を譲らなければならなくなった時には、怪獣役として再び活躍することができた。この「戦いごっこ」の最後は、必ず怪獣役が爆発音を発しながらスローモーションでバタリと倒れ、ウルトラマン役が「シュワッチ！」と叫んで、その場で1回ピョンと飛び上がるのがお決まりであった。とにかく、怪獣が痛い目に合っただけでストーリーが完結するのが暗黙の了解だった。

ウルトラマンシリーズは放送開始55周年を迎えており、かなりの数のウルトラマンが活躍しているのだが、その中でも2001年に登場した『コスモス』は異色の存在と言われ、「強さと優しさを兼ね備えた勇者」と呼ばれている。その理由はと言うと、例えば初代ウルトラマンは「八つ裂き光輪」という物騒な名称の技を使い、エネルギーを歯車状にして放り投げて怪獣を切断していた。よくよく考えるとかなり恐ろしい。しかし、『コスモス』は人間と怪獣の共存を願い、むやみに殺傷はしない。怪獣に対して積極的にコミュニケーションを取り、主体的・対話的に解決しようとする。そして、怪獣の心を静めたり、怪獣の悪意だけを消滅させたりする特殊光線を放って、穏やかなエンディングを目指すのである。全ての生命を慈しむ、実に素晴らしいウルトラマンであった。

さて、世の中の殺伐さが収まらない。私たちの学校生活の中でも、他者への心ない言動やSNSでの不用意な書き込みなど、「優しくない」感情から巻き起こるトラブルがあるように聞いている。これらのことは、自分たち一人ひとりが意識して行動していかないと決してなくなならない。自分が発言する時、自分がつぶやく時、そして自分が書き込む時に、周りが嫌な思いをしないか、他者が傷ついたりしないかなど、もう少し慎重に考え、責任をもって発信してほしい。そして、優しい言葉掛け、朗らかな行動、素敵な笑顔を中心掛けていけば、周りの人々を幸せにすることができるのだということを、もう一度認識してほしい。

ウルトラマンたちだって、光の国から僕らのためにやって来て、この美しい地球を守ってくれている。我々も自分たちの力で、地球の平和、いや指扇中学校の平和を守っていかなければならない。一人でも多くの人々が「強さと優しさを兼ね備えた人」になってくれることを、新年の強い願いとしたい。

皆様、あけましておめでとうございます。素晴らしい1年になりますように！